

朝鮮労働党の新たな戦略的路線

朝鮮社会科学院経済研究所室長
キム・ウンホ(金雄虎)

2018年4月に行われた歴史的な朝鮮労働党中央委員会第7期第3回総会では並進路線の偉大なる勝利を高らかに宣言し、新たな戦略的路線を提示した。

敬愛する最高指導者金正恩同志は次のように述べた。

「経済強国建設は現時期わが党と国家が総力を集中しなければならない基本前線です。」

人民大衆の自主偉業、社会主義偉業を嚮導する労働階級の党が時代と革命発展の要求を正確に分析・判断して、革命発展の段階ごとで正しい戦略戦術的路線を提示することは、社会主義勝利のための決定的要因である。路線と政策を正しく立ててこそ、社会主義建設が瞬間の足踏みもなく、最後勝利に向かって力強く進んで行くことができる。

朝鮮労働党中央委員会第7期第3回総会で提示された戦略的路線は、社会主義経済建設に総力を集中することである。朝鮮労働党が提示した戦略的路線の基本思想は、国の経済土台を強化し、経済を活性化することである。社会主義経済建設に総力を集中することについて、新たな戦略的路線は、朝鮮革命発展の新たな高い段階の要求と現実的条件を正確に反映し、提示された科学的で革命的な路線である。

新たな戦略的路線は何よりもまず、新たな高い段階に入っている朝鮮革命発展の要求を反映して提示された。党の路線と政策が革命と建設を推進する力ある武器にならうとすれば、それが時代と革命発展の要求を正確に反映したものにならなければならない。

新しい世紀に入り、朝鮮では社会主義強国建設闘争が力強く繰り広げられた。国力が強くなり、限りなく隆盛繁榮し、人民に世界が羨ましがらせる幸せを思う存分享受できる社会主義強国にするための闘争は、政治と経済、文化など、社会生活のすべての

分野を強国の地位に立たせることを要求する。

人民生活向上を党活動の最高原則として掲げている朝鮮労働党は、社会主義強国建設において、国の経済土台を強化し、人民生活を向上させるための闘争にも大きな力を注いできた。その結果、人民経済の自立性と主体性を強化し、現代化、情報化のための闘争で大きな成果が成し遂げられ、人民生活を豊かにできる明るい見通しが開かれるようになった。

しかし、新たなチュチェ100年代に入り、社会主義強国建設のための朝鮮人民の闘争の目の前には、帝国主義者たちの日々強化される核脅威と経済制裁封鎖による大きな試練と難関が立ちはだかった。

造成された情勢と革命発展は、朝鮮が帝国主義の侵略戦争策動を断固として押しつぶせる、強力な自衛的国防力をさらにしっかりと固めることを要求した。その結果、朝鮮労働党は歴史的な2013年3月総会で経済建設と核武力建設を並進させることについての革命的な戦略的路線を提示した。並進路線が宣布されてから5年間、朝鮮では世界を驚かす衝撃的な事変が連続して数多く起き、朝鮮の国力はかなり強化された。並進路線が明らかにした歴史的課題が輝かしく遂行されることによって、平和守護の強力な宝剣を備えるため、(空腹に耐え)ベルトを引き締めながら孤軍奮闘してきた朝鮮人民の闘争が輝かしく終了し、子孫代々の尊厳と繁榮のための確固たる保障が築かれた。

並進路線の偉大なる勝利が成し遂げられたことで、朝鮮革命は最終目標を達成するための高い段階に上がっていき、朝鮮人民の前には勝利の信心高く、革命の前進速度をより加速化し、社会主義偉業の最後勝利を早めなければならない重大な革命課題が生じるようになった。

新たな戦略的路線は次に、その実現の現実的条件を正確に見積もることにもとづ

き提示された。党の路線と政策を革命と建設を推進する力ある武器にしようとするれば、その実現の現実的条件が保障されなければならない。経済建設に総力を集中させ、強力な社会主義経済を建設ための闘争の最終目標は自立的かつ、現代的な社会主義経済、知識経済を建設することであり、それはしっかりした人的力量と物質的土台が準備できていてこそ成果的に実現されることである。

こんにち朝鮮には、果てしない創造力をもった人民大衆と党が育てた科学者、技術者陣営がおり、いかなる風波にも屈することない自立経済の土台が築かれている。党に忠実な人民大衆と科学者、技術者陣営は、朝鮮が強力な社会主義経済を建設することができる最も力強い主体的力量である。経済建設闘争において、主体は人民大衆であり、知識経済時代の経済発展は科学者、技術者の役割によって大きく左右される。人民大衆の精神力が発動され、科学者、技術者が社会主義建設の開拓者、先導者としての使命を果たすとき、できないことはないという朝鮮の社会主義建設の歴史がこれをはっきりと証明している。

朝鮮人民は朝鮮労働党の賢明な指導の下、解放後、新しい祖国の建設と戦後復旧建設も短い期間に遂行し、諸外国が百年以上かけて進めた工業化も、たった14年間で遂行しており、社会主義強国建設のため、今日の闘争においても万里馬速度を創造している。つねに科学技術で党を忠実に支えてきた朝鮮の科学者、技術者たちは、特に知識と科学技術で発展する知識経済時代、自分たちの使命と任務を自覚し、先端突破戦を繰り広げ、情報技術、ナノ技術、生物工学等の先端科学技術の発展に大きな成果を成し遂げており、経済建設と人民生活において生じる重要問題を解決することにも積極的に貢献している。このような人民、このような科学者、技術者陣営がいる限り、いくら高く膨

大な目標も朝鮮は十分に到達することができ、強力な社会主義建設の勝利は確固として保障されている。

朝鮮の自立経済土台も、やはり強力な社会主義経済を建設するしっかりとした基礎になる。朝鮮の経済が多面的で総合的な経済構造を備えている条件の下で、いくら外部的環境が複雑であっても、朝鮮人民は、自分が決めたことは自分が要求する水準でいくらかでも国产化ができ、自立的で現代的な経済、知識経済を十分に建設することができた。朝鮮労働党の賢明な指導と社会主義制度の優越性が輝かしく具現され、築かれた主体的力量と自立経済のしっかりとした土台は、社会主義経済建設に総力を集中し、強力な社会主義経済を建設できる確固たる保障となる。

このように朝鮮労働党の新たな戦略的路線は朝鮮革命発展の要求と現実的条件を正確に反映していることで、社会主義偉業の最後勝利を早めることができる最も科学的で、革命的な路線になる。

朝鮮労働党中央委員会第7期第3回総会では、新たな戦略的路線と共に達成しなければならない闘争目標と課題、方法も具体的に提示された。新たな戦略的路線を実現するための闘争の当面の目標は、国家経済発展5カ年戦略遂行期間にすべての工場、企業所で生産正常化の槌音が強く響くようにし、田野ごとに豊収の秋をもたらし、全国に人民たちの笑い声を高く響き渡らせることである。将来的には人民経済の主体化、現代化、科学化を高い水準で実現し、全人民に不自由なく、裕福で文明的な生活を提供することである。

社会主義経済建設に総力を集中するにあたって戦略的路線を貫徹するうえで、朝鮮労働党が掲げている重要な課題は、党と国家の全般事業において経済事業を優先し、経済発展に国の人的、物的、技術的潜在力を総動員することである。経済発展は人的、物的資源をはじめとする資源の十分な保障を必然的に要求する。労働力と生産手段の結合によって成り立つ社会的生産の理屈から見ても、科学技術によって経済発展が左右される時代的要求から見ても、国の人的、物的、技術的潜在力を総動員することは、経済建設に総力を集中するための必須的要求である。

経済発展に国の人的、物的、技術的潜在力を総動員するためには、党と国家の全般事業において、経済事業を優先することが重要である。他のすべての事業の中で、経済事業を前面に掲げて、ここに優先的に資源を配分するとき、国の人的、物的、技術的潜在力が総動員され、経済建設に実質的に総力が集中されるようになる。

社会主義経済建設に総力を集中することについての戦略的路線を貫徹するうえで、朝鮮労働党が掲げている重要な方法はすべての部門、すべての単位において、自力更生、自給自足のスローガンを高く掲げ、科学技術に徹底に基づき、自強力を絶え間なく増大させ、生産の高揚と飛躍を起こしていくことである。

朝鮮は自力更生精神と科学技術を強力な社会主義経済建設の力ある推進力に掲げている。朝鮮労働党の新たな革命的路線に貫通されている核心、基本原則も自力更生である。自力更生は朝鮮労働党の革命精神であり、伝統的な闘争方式である。

朝鮮労働党は革命と建設を領導するにあたり、常にチュチュエの原則、自主的立場を確固と堅持し、すべての問題を朝鮮人民自らの力で、朝鮮式で解決している。朝鮮労働党が繰り広げてきた自力更生の軌道の上で、朝鮮式の社会主義が勝利を続けてきて、朝鮮の国力がますます強化された。全般的な情勢がどのように変化しようとも、さらに高く発揮しなければならないというのが自力更生の革命精神であり、闘争気風である。

自力更生は経済分野において自給自足で具現、実現される。朝鮮のすべての経済部門、単位では自力更生、自給自足のスローガンを高く掲げ、社会的生産の物質技術的土台をしっかりと構築しながら、最大限に増産し、節約して拡大再生産を絶えず実現していくことで自立、自力で国の経済を上昇軌道に確固とのおせて、展望的発展の活路を開こうとしている。自力更生の威力は、つまるところ科学技術の威力であり、科学技術は経済強国建設の機関車である。

科学技術で生産を行い、科学技術に基づいて経済発展が左右される知識経済

時代は、経済建設に総力を集中させ、強力な社会主義経済を建設する闘争で科学技術をしっかりと掲げていくことを要求する。

朝鮮労働党の科学技術重視路線の要求通り、科学技術を掲げ、最先端を突破し、新しい世紀の産業革命の炎をさらに燃え上がらせることになれば、社会主義経済建設において根本的な転換が起こるであろう。

朝鮮労働党の最先端突破思想は、すべての部門、すべての単位において科学技術発展に拍車をかけて、最短期間に世界的水準を突破し、堂々と前に進んでいく思想である。世間が作りあげた基準、世間が歩いた道をついていくのではなく、科学技術において、朝鮮式の思想戦、頭脳戦、創造大戦で現代科学技術を確固と掲げ、世界で主導権を握って、跳躍していく時こそ、すべての分野で先端を突破していくことができる。

朝鮮労働党が提示した最先端突破思想の要求を経済事業に徹底に具現し、人民経済の自立性と主体性を強化し、科学技術と生産の一体化を推進し、自立的で現代的な社会主義経済、知識経済を建設させる近道がある。朝鮮労働党が革命発展の合法的要求を科学的に分析することに基づき、新たな戦略的路線を提示し、その実現で起きる問題をはっきり明示してくれることで、社会主義偉業の最後勝利のための転換的な里程碑が築かれ、朝鮮は隆盛繁栄の順調な路程に沿って力強く前進していくことになった。

2019年4月に行われた朝鮮労働党中央委員会第7期第4回総会と朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第14期第1回会議においても自力更生の旗高く、自立的経済土台を強化し、社会主義建設を推進するうえで提起される重要な問題が討議された。

今日朝鮮人民は朝鮮労働党の下に固く団結し、自力更生を繁栄の宝剣として掲げ、新たな戦略的路線を貫徹するための創造大戦、万里馬速度創造運動を力強く繰り広げており、自主的理想と幸せな花を咲かせるための朝鮮人民の闘争は、遠くない将来に必ず輝かしい結果をもたらすであろう。

[朝鮮語原稿をERINAにて翻訳]